



あーすフェスタかながわ2015に国際語科生徒121人がボランティア参加しました!(5月16日、17日)

この多文化共生のお祭りには、国際語科は2006年ボランティアに参加しています。すっかり国際語科の活動として定着し、年々参加希望者が増えています。今年はなんと155名もの希望者があって、抽選会を行わなければならないほどでした。当日は2日間合わせて約20000人ももの来場者が訪れ会場は大盛況でしたが、国際語科の生徒の笑顔と一生懸命さは会場をいっそう盛り上げました。



「世界の遊び」のコーナーでのボランティア。世界のボードゲームを来場した子どもたちと一緒に楽しみました。

子ども向けの トランポリンの宣伝。 エコ容器回収は、来場者とのコミュニケーションができます。



受付案内も笑顔で! 元気に挨拶できました。 世界のお茶コーナー。 ボランティアの時間以外は、お祭りを満喫!



「シンチャオ」ベトナム支援のNGO団体です。ベトナム雑貨を販売するボランティアに参加しました。昨年の国際語科の夏期研修でもフィールドワークをしていただくなどお世話になりました。(左2枚)



「地球の木」主にネパール支援のNGO団体です。この団体にも夏期研修でワークショップをしていただいたり、ネパールの高校生徒の文通をさせていただくなどお世話になっています。当日はチヂミ販売のボランティアをしました(左2枚)



「JUNKO Association」 明治学院大学の学生NGO団体です。



ミャンマー、タイ、ベトナム支援のNGO団体です。ミャンマーの高校生徒の文通や大学訪問などをしていただいています。当日はタイ雑貨の販売のボランティアをしました。(左4枚)

〈生徒の感想から〉

- 一つの国に様々な国の人たちが共生し文化を認め合うということは難しいことだけでも、とても素晴らしいことだと思います。国境に関係なく本来、人種で人間をくくるといった理不尽なものが、多文化共生によってお互いを認め合い本当の世界の平和につながれば幸いです。また他文化を受け入れることも大切ですが、自国の文化を尊重することも必要だと思いました。
- あーすフェスタみたいに色々な文化の人たちが一つの場所で話したり、踊ったり、歌ったりが世界中で同じようにできたらいいと思いました。文化や宗教、言語が違って一緒に楽しめることを実感しました!きっと私の周りにもこの楽しさを知らない人がいると思います。ですから私の地域でもこのようなイベントが開催されれば他の文化の方への親近感もわくし、ただ普通に楽しいと思います。



教育実習生の先生紹介 今年は国際では1-Dに、また国際語科卒業生が2-13にきています。短い間ですが、仲良くしてください!

●はじめまして。**法政大学**から来ました、教育実習生の**加藤翔吾**です。科目は数学で、クラスは1-Dを担当させていただいています。国際語科の第1印象としては、とにかく明るくて温かいです。見知らぬ自分にも気軽に話しかけて質問をしてくれたり、何気ない話をしてくれたりなど本当に助かっています。ありがとうございます。3週間という短い期間ですが、たくさんみなさんと関わって少しでも印象に残るように頑張りますので、よろしくをお願いします。

●国際語科の皆さん、こんにちは。教育実習生の**渡辺紗希(東京女子大学)**です。大学では日本文学を専攻していますが、言語や異文化にも興味があるので、友人からは「日文らしくない」と言われています。さて、私は数年前に国際語科を卒業したのですが、ILCは変わったと思います。もちろん、いい意味です。研修の際にホロコーストミュージアムに行ったこと、3ヶ月の短期留学という制度が追加されたことを聞いて、とても羨ましく思いました。頭が柔らかい高校生のうちに、できるだけたくさんの方のことを吸収・体験してください。きっと財産になります。私の国際語科の同期は、てんてんばらばらに世界を舞台に活躍しています。つい先日も、カンボジアに1人旅立ちました。日本にも可能性はたくさんありますが、世界に目を向けることでそれは更に広がると思っています。いつか国際語科にいたことが誇りになるような時間を、この横浜隼人高校で過ごしてください。